

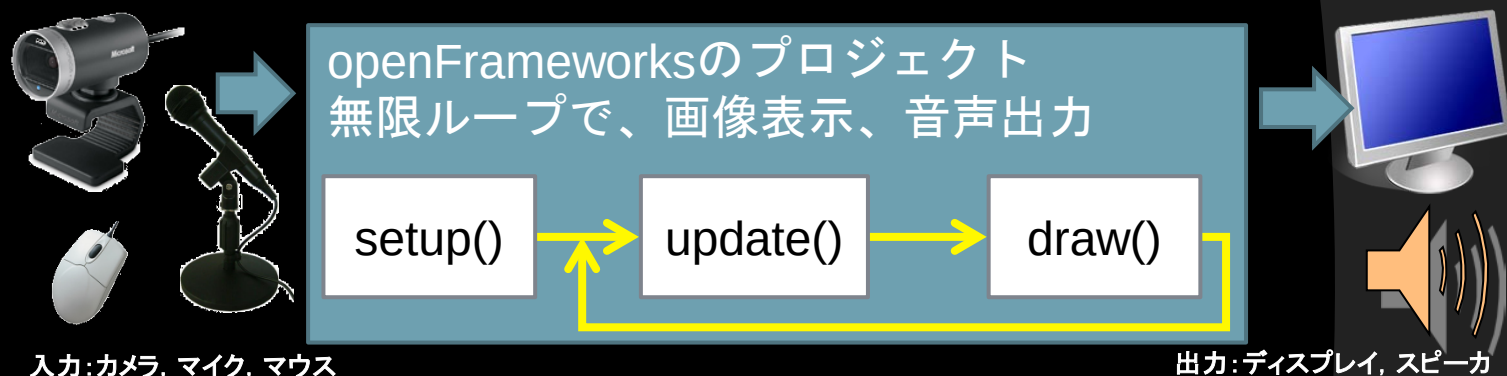
openFrameworksによる インタラクティブ・コンテンツ制作入門

担当：東海林

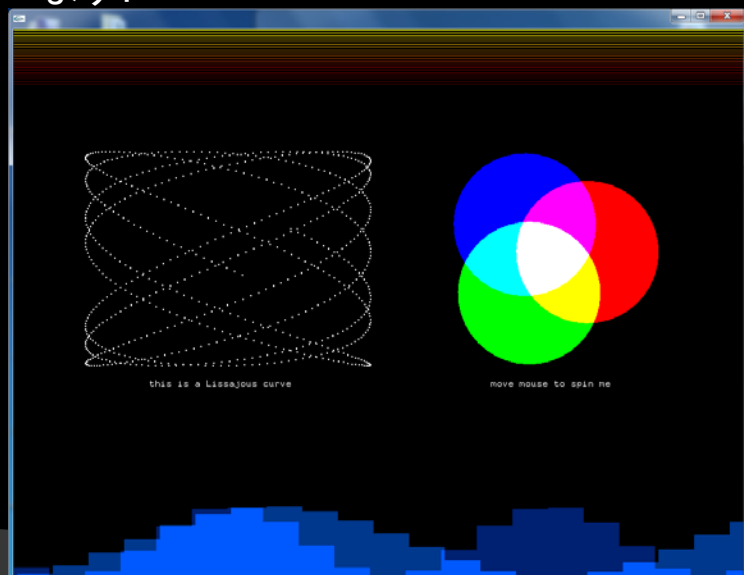
openFrameworksは、プログラミング言語C++によるツールキットで、インタラクティブ・コンテンツやメディアアートを制作することに特化したものです。プログラミングの専門知識がなくても容易にソフトウェアを開発できるように作られています。Windows, Mac OS X, Linux上で動作し、画像、映像、音声を比較的簡単に扱うことができます。Javaベースの「Processing」のC++版とみなすこともできます。

Windows版では、Visual Studioのプロジェクトが用意されており、その中にある関数`setup()`、`update()`、`draw()`に、必要な命令を加えるだけになっています。これらの関数は、以下のような無限ループで呼び出され、入力に応じて出力が変化するインタラクティブ・コンテンツが容易に実現できます。

カメラやマイク入力により映像や音が変わるインタラクティブ・コンテンツの作成がこのテーマの課題です。皆が楽しめるものを作成しましょう。



リサージュ図形や色の加法混色の図がマウスの位置や動きに反応するなどの多数のサンプルプログラムを含みます。



上からランダムに降ってくるボールを体のシルエットで受け止めるインタラクションの試作例。webカメラ入力の緑成分から体のシルエットを求めています。

